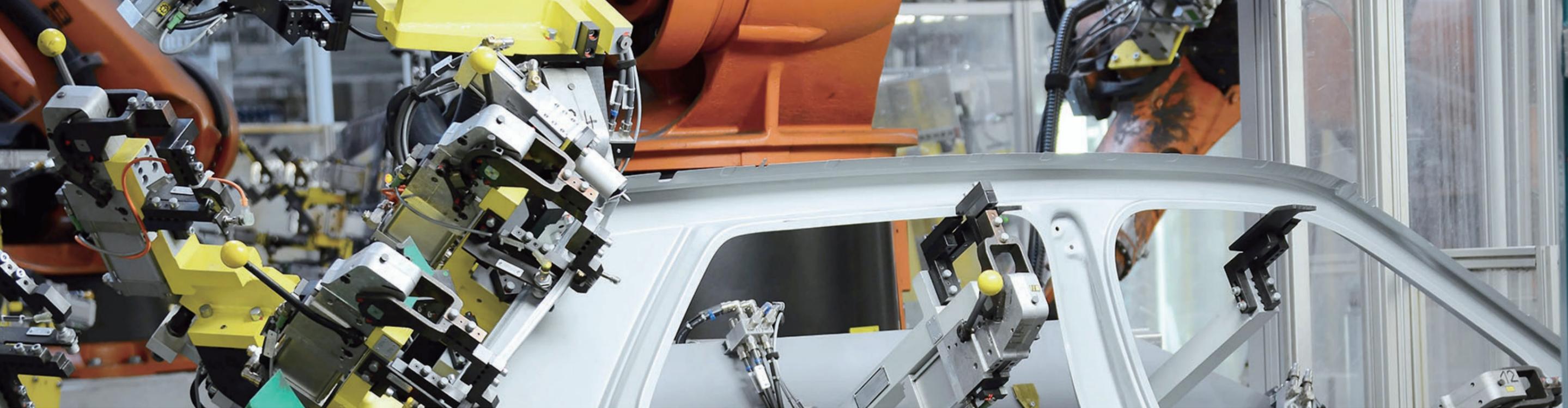


データ駆動経営を支援するニューパラダイム



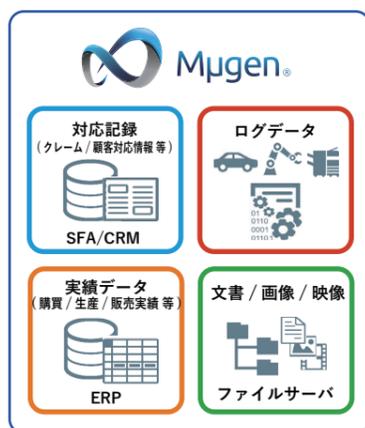
UCHIDA



データ駆動経営を支援する新時代のシステム

加速的に「変化」する現代のビジネスにおいて、その「変化」に対して柔軟かつ迅速に対応することができないと競争優位性の確立は難しいと言えます。このような状況の中で内田洋行は「企業内に蓄積されているサイロ化された多様なデータを統合する仕組み」「ビッグデータとビジネスデータを結びつけ活用する仕組み」が企業競争力を高める上で今後より一層必要になるとの認識からデータ駆動経営を支援するMugenを開発しました。

Mugenは、サイロ化されている社内情報やクラウド環境を仮想的に統合します。対象データは、ERP/基幹系システムで管理される取引や作業に関する「実績データ」、SFA/CRMあるいはNotesなどのグループウェアで管理されるテキストで記述された「対応記録」、ファイルサーバで管理される各種の「文書/画像/映像データ」に加え、最近、特に話題となっている、自動車、産業機械、複合機、製造設備に搭載された様々なセンサーより出力される「機器ログデータ」等、あらゆる環境のあらゆるデータです。特に、ビッグデータ活用のためには、トライ&エラー/スパイラルなアプローチが重要で、エンタープライズデータと融合したデータディスカバリが成功の鍵になります。



従来のアプローチの限界

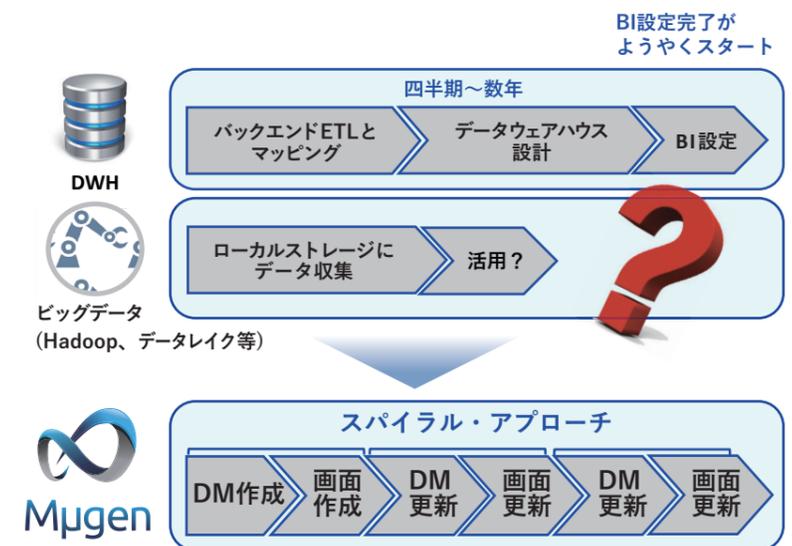
企業/グループの横断的な情報活用のため、従来はデータウェアハウス（以降DWH）を構築してきました。DWH構築では事前にDWHデザインをした上で各種データソースからの抽出・加工・DWHへのロード設計を行います。そして可視化のためにDWHのフロントにBIをつなげることが一般的です。この物理的なデータ統合はスキーマ・ベース

で事前定義することが必要であり、異なるデータソースから統合DWHをデザイン/構築するためには多くの時間とコストとスキルが必要になりました。

またDWHは作ってそれで終わりではありません。対象となるデータソースが増えた、ビジネスが変わりモノの見方が変わった（管理の仕方が変わった）等々により、全体的なデザインの見直しが必要になります。「変化」への柔軟かつ迅速な対応ができるとはお世辞にも言えませんでした。更にビッグデータ（非構造化データ）はDWHには含まれず、Hadoop等で別途蓄積はするものの活用には至っていないというのが現状です。この膨大なデータをどうすれば有効活用できるかがわからないというのがその理由です。事前定義なるものができるとは到底思えません。

Mugenのメリット

Mugenは環境（クラウド、オンプレ、ハイブリッド）を選ばず、ビッグデータを含む散在する様々なデータを統合活用することが可能です。可視化しながら試行錯誤できるスパイラル・アプローチは、DWH構築と比較するとリスク・ヘッジにもつながり、まさに現代の企業が抱えるシステム課題にマッチしたアプローチと言えるでしょう。将来的なデータの追加にも柔軟かつ迅速に対応できます。



- 短期導入の実現
- 導入コスト・リスクの削減
- 可視化しながら考える（仮説検証）アプローチ

動作環境

種別	動作環境	備考
プラットフォーム(OS)	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 Red Hat Enterprise Linux 9 Amazon EC2™	仮想環境でも構築可能
キャッシュサーバ	Redis(Linux)	必要に応じて
プラットフォーム(システムDB)	MySQL RDS(MySQL)	—
Heuristic Index	Apache Solr	—
アプリケーションフレームワーク	Oracle Java 8 Java 11(OpenJDK) Oracle Java 17	—
認証基盤	Active Directory	カスタマイズによりカスタム認証ロジックにも対応可能
DataRepository	MySQL MariaDB ColumnStore PostgreSQL Microsoft SQL Server Oracle DB2 Apache Solr Amazon Cloud Search Amazon RedShift Amazon RDS (MySQL,Oracle,SQLServer,PostgreSQL) Connector 2.0で提供する各種リポジトリ (CSV,Excel,SharePoint 他多数)	既存の分析可能なデータがあれば、それをそのまま利用することが可能。
ブラウザ	Chrome / Firefox Microsoft Edge	—
ライセンス	ツール利用ユーザー数(年間利用料)	—

推奨動作スペック

種別	Mugen Server
CPU	x64プロセッサ 2.0GHz以上(Dual-core以上)
Memory	32GBytes 以上
HDD	空き容量が100GBytes 以上

*上記環境他記載情報は2024年8月現在のものになります。最新情報及び詳細についてはお問い合わせください。

内田洋行 スマートインサイト事業部

〒135-0016 東京都江東区東陽2-3-25 住生興和東陽町ビル
<https://smartinsight.jp/> TEL:03-5634-6686

※株式会社内田洋行とスマートインサイト株式会社は合併いたしました。

● Mugen®, SMART/InSight®, Product360, Customer360は株式会社内田洋行の登録商標です。
その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

